壁スイッチコントロール機能(ワンタッチスイッチ機能)について

壁スイッチですばやく(約2秒以内)OFF → ON することにより、次のように点灯順序が切り替わります。



※壁スイッチをOFFにすると、どの点灯状態でも消灯します。

使用上のご注意

この器具は、FHC27、FHC34専用器具です。従来のFCL30、FCL32、FCL40は使用できません。

- ■本器を分解したり、改造しないでください。 火災などの原因になります。
- ■精密機器のため落下などの衝撃を加えないでください。
- ■壁スイッチで電源を切った場合及び停電の場合は、リモコン送信機で 操作しても作動しません。

壁スイッチON及び停電復帰後は、全灯状態になります。

- ■点灯中や消灯直後、カバー等のプラスチックの伸縮により、「ピシ・ ピシ」、「ポッ・ポッ」という摩擦音が生じることがあります。
- ■ランプが点灯するとき、ランプ管端部が赤く光ることがあります。
- ■本器具に添付のリモコン送信機は、当社リモコン照明器具専用です。 リモコン式テレビなどには使用できません。

また、テレビやビデオのリモコン送信機では、照明器具は作動しません。

- ■器具の近くでラジオや赤外線リモコン方式の電気機器を使用されます と、雑音が入ったり、リモコンを操作しても作動しない場合があります。
- ■本器具をご使用中あるいはリモコン送信機で消灯させた状態で停電し た場合、停電から復帰したときは全灯状態となります。 長期間のお出かけの際には、壁スイッチで電源を切ってください。

- ■この器具はリモコンスイッチで消灯してもリモコン部の回路が約1.0W の電力を消費しておりますので、節電のために長期外出時には壁スイ ッチを切ってください。
- ■リモコン送信機は器具に向けて操作してください。 リモコン送信機の周囲にしゃへい物がある場合、器具が作動しません ので、しゃへい物を取除いて再度ポタンを押してください。
- ■照明器具にリモコンの信号が届く範囲でご使用ください。 *部屋の温度によっては、リモコンが動作しづらいことがあります。
- ■天井や、壁、床の色や材質によってはリモコンが動作しづらいことが
- ■乾電池の寿命は、マンガン乾電池1日10回使用の場合で約6ヶ月です。 (日安)
- ■ニッカド電池などの充電式乾電池は使用できません。
- ■乾電池は、単3形乾電池をご使用ください。
- ■乾電池は、+・-の極性を正しく入れてください。
- ■シンナー・ベンジンなどの揮発性のものやアルカリ系洗剤などを使用 して本体を拭かないでください。 外郭強度の低下、変色、故障の原因になります。

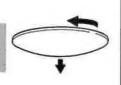
器具のはずしかた

ランプ交換の際は、NEC蛍光ランプ・ホタルックスリムをご指定ください。

必ず電源を切って本体やランプが冷えてから行ってください。

■カバーの外しかた カバーを左に回してください。

カバーは無理にはずさないでください。 カバーの割れ、落下によるけがの原因と なります。



■ランプの取り付け、取り外し

消灯直後は高温になっていますので注意ください。

ランプソケット又はインバータケースの表示に従ってランプを取り付 けてください。

- ランプの口金は、多少動くようになっておりますが無理に回さないで ください。
- ランプ交換の際は、ランプホルダーで強く弾かないでください。

■電源の外しかた COMP 右図のようにコネクタの矢印部分を押し ながらコネクタを引き抜いてください。 ■本体の外しかた 本体中央部のレバーを矢 印方向へ引いてください。

■アダプタの外しかた アダプタの赤いボタンを押し ながら矢印方向に回してください。



※ボタンを押さずに回すと引掛シーリングが破損します。

スリム形蛍光ランプの特徴

- 器具に添付していますスリム形蛍光ランプ(FHC=高周波点灯専用環形蛍光ランプ)は、次のような特徴があります。
- ◎FHCは、ガラス管径16mmスリムで、省資源・省スペースおよび、器具の薄型化を可能にした、長寿命な蛍光ランプです。
- ◎このランプは、発光効率を向上させるために、片側の電極(ランプマークが表示されていない側)に通常より背の高い特殊な電極を採用して います。このためランプマークが表示されている側より、ランプ点灯時の影で若干暗くなっています。
- ◎ランプ点灯初期に、明るくなるまで少し時間がかかる場合がありますが、異常ではありません。 約10分程度で明るくなります。

お客様が保管してください。

364-807 9LKZ 説明書 (サオ) RL50

NEC 照明器具

保証書添付 保存用 取扱説明書

●このたびはNEC照明器具をお買い上げくださいましてあり がとうございます。

●取り付けの前には必ずこの取扱説明書を最後まで読み、正 しく施工してください。 ●取付工事が終わりましたら、この説明書は、ご使用になる

取り付けできない天井

火災・感電・落下によるけがの原因となります。





天井についている引掛シーリングの形状によって取り付 けできない場合がありますので裏面の「天井の引掛シー リングを確認する」に従って確認してください。

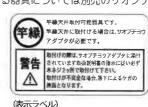
〈 サオブチ天井に取り付ける場合 〉

本体に図のような表示ラベルが貼ってある器具については別売のサオブチ

ヨウアダプタ(699-9869)を使用していた だくことで取付可能となります。 取付方法については、サオブチョウアダ

プタに添付している取扱説明書に従い確 実に取り付けてください。 木ネジ2本で取り付ける方法の為、天井

に穴があきますのでご注意ください。



を確認してください。 _24mm未満 天井板が竿縁に 24mm未満 固定されていない天井 または34mm以上

サオプチョウアダプタを購入する前に天井の状態 サオブチの断面が 上図の形状のもの

サオプチ天井に

器具を取り付けたい

という方に・・

下記のサオブチ天井では使用できませんので必ず

取付上のご注意

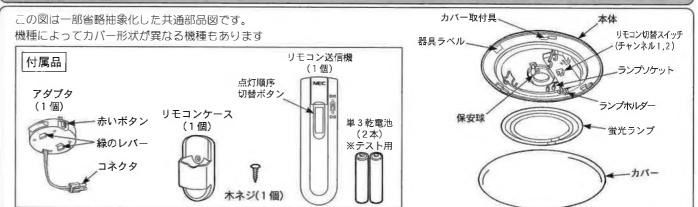
壁付調光器のある回路では使用しないでください。



本器具を取り付ける電源回路(壁スイッチ等)に調光器が接続されている場合、 ランプが正常に点灯しなかったり、器具が故障することがあり使用できません。 右図のような調光器が接続されている場合は必ず調光器を取り除いてください。 (調光器の交換工事は電気工事店に依頼してください。)



各部の名称



定 格

形 式	定格電圧	定格周波数	定格消費電力	使用蛍光ランプ	使用保安球	始動方法
27形 + 34形 (弊社形式:9LKZ***	AC100V	50Hz 60Hz	71W	FHC27 FHC34	E12なつめ球 (5Wまで)	インバー夕式

NECライティング株式会社

東京都港区芝1-7-17

₹105-0014 http://www.nelt.co.jp/

<お客様相談室>

フリーダイヤル 0120-52-3205 受付時間 平日9:00~12:00 13:00~18:00 (土、日、祭日は受け付けておりません) FAX. 03-6746-1521

器具の取付方法

器具の取り付けを行う際は、感電等の事故防止の為、必ず電源を切って行って下さい。

1. 天井の引掛シーリングを確認する

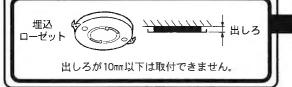
取り付け可能な引掛シーリング

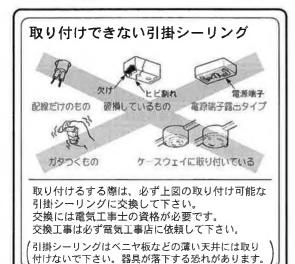
・下図の引掛シーリングであれば取り付け可能です。 (ガタつきや破損がないことを確認して下さい。)



引掛シーリングの形状によって 取付方法が異なります。







2. アダプタを取り付ける

アダプタの引掛金具を引掛 シーリングに挿入し矢印方 向にカチッと音がするまで まわしてください。



取り付け後、赤いボタン を押さずに左に回して、 はずれないことを確認し てください。

⚠ 警告

落下のおそれあり

取り付けが不完全な場 合、落下によるけがの 原因となります。

2. アダプタを取り付ける

アダプタの引掛金具を引掛 シーリングに挿入し矢印方 向にカチッと音がするまで まわしてください。



重要求化

取り付け後、赤いボタン を押さずに左に回して、 はずれないことを確認し てください。

△警告

落下のおそれあり

取り付けが不完全な場 合、落下によるけがの 原因となります。

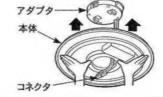
3. 本体を取り付ける

①ランプがランプソケットに確実に差し込ま れていることを確認してください。 不十分な場合、ランプが点灯しない場合が ありますので確実に差し込んでください。 ランプ



②1段押上げ(仮固定)

コネクタを本体中央の丸穴 より通し、アダプタに丸穴 を合わせ、本体中央部を天 井に押し上げる。





まだ本体の取り付けは不完全です。

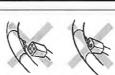
この状態のまま使用すると、落下によるけがの原因となります。



3. 本体を取り付ける

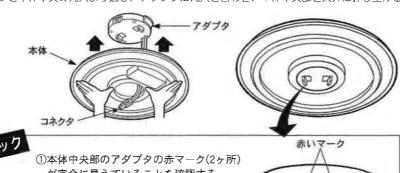
①ランプがランブソケットに確実に差し込ま れていることを確認してください。 不十分な場合、ランプが点灯しない場合が ありますので確実に差し込んでください。





②1段押上げ(取付完了)

コネクタを本体中央の丸穴より通し、アダプタに丸穴を合わせ、本体中央部を天井に押し上げる。



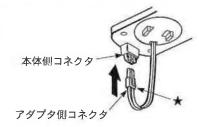
が完全に見えていることを確認する。 ②本体のグラつきがないことを確認する。

これで本体の取り付けは完了です。

4. 電源を接続する

アダプタ側コネクタを本体側コネクタ に確実に差し込んでください。

★の部分を押さえずに、アダプタ 側コネクタを引っ張り、コネク タが抜けないことを確認してく ださい。



5. チャンネルを設定する

■ 1台のみ操作する場合

器具本体側のチャンネルとリモコン送信器チャンネル を同じチャンネルに合わせてください。 (出荷時のチャンネルは、器具本体側・リモコン送信器 共、チャンネル1に設定しています。)





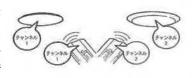
送信機チャンネル

■2台の器具を別々に操作する場合 (1つのリモコン送信器で2台の器具を別々に操作することができます。)

1台目の器具本体側チャンネルを「1」、

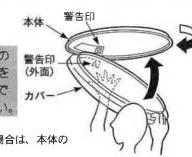
もう1台の器具本体側のチャンネルを 「2」に合わせてください。

リモコン送信器のチャンネルを操作した い方の器具のチャンネルに合わせ、器具 を操作してください。



6. カバーを取り付ける

本体の警告印(人)にカバーの 警告印 警告印(Δ)を合わせカバーを (外面) 持ち上げパチンと音がするまで カバーを右にまわしてください。



カバー取り付け時に本体が回転してしまう場合は、本体の 取り付け(押し上げ)が不十分です。

「3.本体を取り付ける」に従って、本体の取り付け(押し上げ)を確認してください。

落下のおそれあり

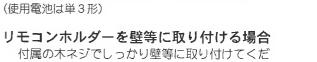
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

7. リモコン送信機に乾雷池を入れる

カバーを軽く押しながら手前に引いて外して下さい。 乾電池の極性⊕⊖を間違えないように入れて、カバ 一を閉めてください。

リモコン送信機の平均電池寿命は、1日10回使用 した場合、約1年間です。

電池交換の際は、必ず2本とも交換してください。 (使用電池は単3形)



付属の木ネジでしっかり壁等に取り付けてくだ

リモコンホルダーに入れたままリモコン操作を 行うと動作しない場合があります。

その場合はリモコンホルダーからリモコンを取 り出し、器具の方へ向けて操作してください。



木ネジ